

森林・山村多面的機能発揮対策

モニタリング調査野帳

活動組織名			
活動タイプ	資源利用タイプ		
目標林型	高木層の2割、亜高木層の5割を間伐し薪炭材40m <sup>3</sup> を得る。林床の光環境を改善し天然下種更新を促す。低木層の良炭材樹種は全て残し、それ以外は除伐し林相を改善する。		
調査区名称		調査区面積	100 m <sup>2</sup>
調査年月日		調査者氏名	

No.	樹種	胸高直径 (cm)	樹高 (m)	幹材積 (m <sup>3</sup> )	No.	樹種	胸高直径 (cm)	樹高 (m)	幹材積 (m <sup>3</sup> )
1	サザンカ	6.4	6	0.012	26				
2	クロキ	16.9	7.5	0.087	27				
3	コナラ	35.7	15.5	0.708	28				
4	タブ	27.1	9.7	0.263	29				
5	サザンカ	5.1	4	0.006	30				
6	サザンカ	4.5	3	0.003	31				
7	タブ	30.6	13.3	0.454	32				
8	ヒサカキ	6.4	8	0.016	33				
9	シラカシ	10.2	6.7	0.032	34				
10	サザンカ	3.8	4	0.003	35				
11	コジイ	48.7	17	1.429	36				
12	ヒサカキ	6.4	7	0.014	37				
13	サザンカ	5.1	5	0.007	38				
14	サザンカ	4.8	5	0.006	39				
15	サザンカ	4.8	2.5	0.003	40				
16	サザンカ	5.7	7	0.011	41				
17	サザンカ	7.3	6	0.017	42				
18	サザンカ	5.1	5	0.007	43				
19	サザンカ	3.2	4	0.002	44				
20					45				
21					46				
22					47				
23					48				
24					49				
25					50				

〈メモ〉	立木数	19	本
	平均樹高	7.2	m
	相対幹距比	32.0	
	幹材積(1本あたり平均)	0.2	m <sup>3</sup>
	幹材積(調査区あたり)	3.1	m <sup>3</sup>
	幹材積(1haあたり)	308.1	m <sup>3</sup>